

## 令和8年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 67

千葉県立清水高等学校 全日制の課程 食品科学科

機械科・電気科・環境化学科（工業系3学科くくり募集）

### 1 期待する生徒像

#### (1) 食品科学科

人物に優れ、本校で学習する能力があり、次のアまたはイに該当する生徒

ア 食品の「生産」や「食品に関わる実験・実習」に興味・関心が高く、その適性がある生徒。

イ 「部活動」や「特別活動」を含む学校活動全般において優れた実績や技能があり、高校入学後もその分野において継続して取り組む意志のある生徒。

#### (2) 機械科・電気科・環境化学科（工業系3学科くくり募集）

人物に優れ、本校で学習する能力があり、次のアまたはイに該当する生徒

ア 「科学技術」や「ものづくり」に興味・関心が高く、その適性がある生徒。

イ 「部活動」や「特別活動」を含む学校活動全般において優れた実績や技能があり、高校入学後もその分野において継続して取り組む意志のある生徒。

### 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
① 面接	評価者3名の個人面接 検査時間：5分程度
② 適性検査	「ものづくり適性検査」を実施する。食品科学科と工業系3学科で同様の内容。与えられた課題の製作を個人で行う。検査時間：20分

### 3 評価項目及び評価基準

#### (1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

## (2) 調査書〔185点満点〕

アの数値に、イについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科が6つ以上ある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録、部活動等の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については50点を上限として加点する。 日本漢字能力検定「4級」以上、実用英語技能検定「4級」以上、日本数学検定「5級」以上等の資格は、加点する。

## (3) 学校設定検査〔144点満点〕

### ①面接〔48点満点〕

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価する。

aを4点、bを3点、cを2点、dを1点とし、3名の評価者の評価（各16点満点）を合計し、得点化する。評価cまたは評価dが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機	志望動機が明確である。
イ 学校生活への意欲	中学校生活や高校生活に対する意欲がある。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。
エ 身だしなみ・態度	基本的な面接作法が身に付いている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。

### ②適性検査〔96点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、それぞれの評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価する。

aを16点、bを12点、cを6点、dを1点とし、2名の評価者の評価（各48点満点）を合計し、得点化する。評価cまたは評価dが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 製作態度	課題の製作に真剣に取り組んでいる。
イ 製作の過程	製作の過程が、正しい手順や方法で行われている。
ウ 作品の完成度	完成した作品の仕上がり具合が、課題に沿っている。

#### 4 選抜方法

##### (1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接・適性検査）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点		総得点
	評定 (K=1)	加点	面接	適性検査	
500点	135点	50点	48点	96点	829点

##### (2) その他

入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

#### 5 その他

工業系3学科（機械科・電気科・環境化学科）は、くくり募集とする。

令和8年度 第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 67

千葉県立清水高等学校 全日制の課程 食品科学科  
機械科・電気科・環境化学科（工業系3学科くくり募集）

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	評価者3名の個人面接 検査時間：7分程度
(3) 適性検査	「ものづくり適性検査」を実施する。食品科学科と工業系3学科で同様の内容。与えられた課題の製作を個人で行う。検査時間：20分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1または未評価の教科が6つ以上ある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録、部活動等の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については、総合的に判定する際の参考とする。 日本漢字能力検定「4級」以上、実用英語技能検定「4級」以上、日本数学検定「5級」以上等の資格は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔120点満点〕

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価する。

aを10点、bを7点、cを3点、dを1点とし、3名の評価者の評価（各40点満点）を合計し、得点化する。評価cまたは評価dが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機	志望動機が明確である。
イ 学校生活への意欲	中学校生活や高校生活に対する意欲がある。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。
エ 身だしなみ・態度	基本的な面接作法が身に付いている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。

(3) 各高等学校において別に定める検査〔96点満点〕

適性検査

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、それぞれの評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価する。

aを16点、bを12点、cを6点、dを1点とし、2名の評価者の評価（各48点満点）を合計し、得点化する。評価cまたは評価dが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 製作態度	課題の製作に真剣に取り組んでいる。
イ 製作の過程	製作の過程が、正しい手順や方法で行われている。
ウ 作品の完成度	完成した作品の仕上がり具合が、課題に沿っている。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点	面接の得点	各高等学校において別に定める検査の得点	総得点
評定			
135点	120点	96点	351点

(2) その他

入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

4 その他

工業系3学科（機械科・電気科・環境化学科）は、くくり募集とする。